

1. 実験の背景

- 奈良公園周辺では観光シーズンには駐車場が不足し、国道369号などに**深刻な交通渋滞が発生**している。
- 人気スポットからやや離れた駐車場には空きがある状況である。

2. 実験の目的

- 奈良公園周辺にマイカーを流入させないために、**パーク&ライドの更なる充実**を図る。
- パーク&ライド駐車場と奈良公園周辺を結ぶ**バス交通との接続を強化**する。
- ICTによる交通量データの収集方法を検証する。

3. 実験内容

(1) ICT技術を活用した交通マネジメントの実施

- 駐車場案内システムを活用し、ドライバーに周辺駐車場の満空情報をタイムリーに提供。
- SNS(ツイッター等)を活用した交通情報提供の有用性を試行。

(2) 官民連携によるパーク&ライド駐車場から奈良公園への移動円滑性向上

- 交通事業者と連携し、大宮通り直行バスを運行し、観光周遊行動を拡大。
- 民間商業施設と連携し、平城宮跡周辺のパーク&ライド駐車場を拡充。
- インセンティブの付与により、パーク&ライド駐車場の利用を促進。
- バスロケーション情報を提供し、移動の利便性向上と満足度を確認。

(3) 公園内道路のボトルネック解消

- 大仏殿前駐車場の予約システムを完全予約制とし、入場待ち行列の改善効果を確認。
- 奈良公園バスターミナル供用開始後を視野に入れた交通量データの収集方法を検討。



図-1 実験のイメージ



図-3 大宮通り直行バスの運行



図-4 駐車場を拡充



図-2 駐車場満空情報

4. 実験結果

- (1) ICT技術を活用した交通マネジメントの実施
 - 渋滞長が減少(800m⇒110m)したことから、駐車場満空情報、道路混雑情報を発信・提供することが課題解決の対応策として有効
 - 駐車場満空情報をタイムリーに提供し、社会実験の広報を実施したことにより、駐車場の稼働率、利用率が向上
- (2) 官民連携によるパーク&ライド駐車場から奈良公園への移動円滑性向上
 - ぐるっとバスの満足度が向上(49%⇒68%)したことから、直行バスの運行が観光周遊行動の快適性向上に貢献
 - バスロケーション情報の提供がバス利用満足度向上の一要因
- (3) 公園内道路のボトルネック解消
 - 公園内道路東行きの旅行速度が向上(17.8km/h⇒18.6km/h)
 - 実験時には大宮通りの観光バス渋滞が見られず、駐車場の完全予約制により無予約車の進入を抑制

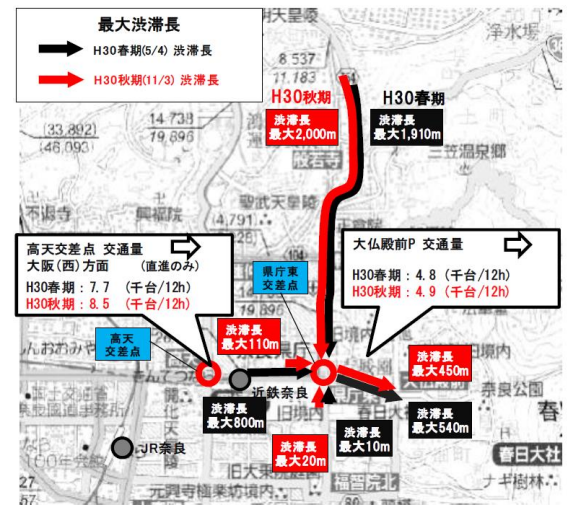


図-5 交通量・渋滞長の現況との比較

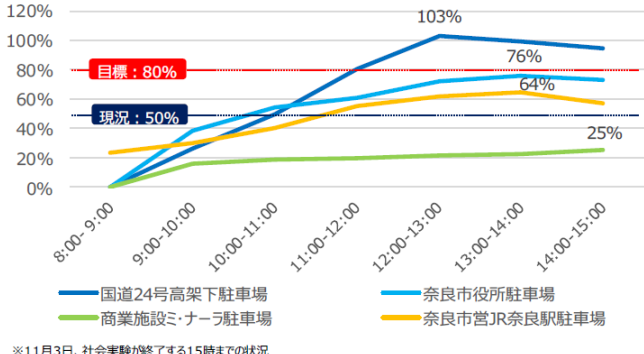


図-6 駐車場稼働率

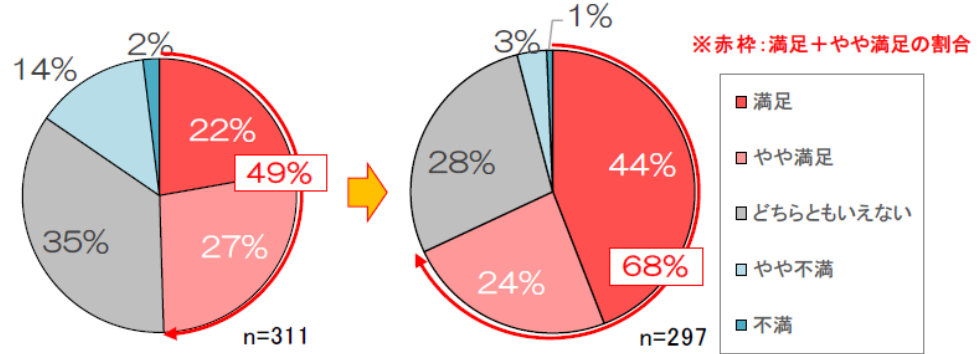


図-7 ぐるっとバス利用者満足度 (左: 現況 (H30春期)、右: 社会実験時 (H30秋期))

5. 本格実施に向けた課題

- 駐車場案内システムの認知状況を踏まえた案内システムによる情報発信の効果検証
- SNS等の情報発信におけるアカウント情報を認知させる取組み
- 駐車場の利用促進に有効なインセンティブの検討
- 民間駐車場との連携に係る採算性
- バスロケーションシステムによる情報発信の恒常的な実施
- 中心市街地の交通マネジメントの検討